

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

合格おめでとう！教員採用試験（二次合格最終）結果速報

10月に入り2023年度教員採用試験結果が都道府県ごとに発表されました。6日に発表された千葉県は合格者は中高英語で英米語学科4年生君塚翔伍さん、佐藤向日葵さん、卒業生の山崎隼弥さんの3人、特別支援で英米語学科4年生小林悠太さん、小学校全科で卒業生の吉屋李華さん、鶴沢美里さんの計6人でした。7日には群馬県中学校英語に英米語学科4年生の武藤美優さんが合格しました。14日には東京都中高英語で英米語学科4年生の鈴木歩さん、関野玲佳さん、橋本ありささん、卒業生の小野勝春さん、内藤卓さんの計5人が合格しました。合格者の喜びの声を伝えます。なお、10月末に福島県の教員採用試験の二次合格（最終）が発表され、今年度の合格者数が確定します。

佐藤向日葵さん（千葉県・中高校英語）

二次試験対策をMETTSの先生方が親身に指導してくださったので、当日に自身のベストが出せたと感じています。学校現場でも自分の良さを出せるように努力していきたいと思います。ご指導ありがとうございました。



武藤美優さん（群馬県・中学英語）

私は教育実習後に教員になりたいという気持ちが強くなり、地元で合格できた喜びを強く実感しています。ご指導いただいた先生方には本当に感謝しています。



関野玲佳さん（東京都・中高校英語）

1次、2次試験共にMETTSの先生方の手厚いサポートを受け合格する事ができました。残り半年間の大学生活を教師になるという自覚を持ってこれまで以上に勉強に力を入れていきたいです。



東京都・千葉県・群馬県合格者数一覧

	中高英語		小学校全科	特別支援	計
	現役	既卒	既卒	現役	
東京都	3人	2人			5人
千葉県	2人	1人	2人	1人	6人
群馬県	1人				1人
				計	12人

教職座談会「教師の魅力」を開催

10月10日、現職の教師として活躍している卒業生を招き「教師の魅力」を伝えていただく座談会を開催しました。右下写真左から、大塚桃加先生(江東区立第二大島中学校英語科)、小関聖翔先生(千葉市立貝塚中学校英語科)、佐藤里奈先生(千葉県立千城台高校国語科)、池田義友先生(足立区立第五中学校英語科)、江川有紗先生(千葉県立流山北高校英語科)、嶋田宗晋先生(千葉県立千葉西高校英語科)の6人の先生方が自分の思いや経験を後輩たちに伝えるため、忙しい中を駆け付けてくれました。勤務5年目で3年生のクラス担任を務めている大塚先生は学校行事の写真等を示しながら、「早起きが辛くて仕事に行きたくない気持ちの時もあるが、生徒に会えば『やっぱり来てよかった』と励まされることがある」と話してくれました。

参加した教職履修2年生、3年生のアンケートには、「教師になる気持ちが強くなった」や「このような機会があればまた参加したい」との感想が見られました。

来年度も同様の会を開催する予定です。



足立区民講座第2クール開始

10月9日に、足立区民対象の英語講座第2クール（秋季）が足立区こども支援センターげんきを会場として始まりました。「アフターコロナの海外旅行を応援・海外で役立つ初級英会話講座」をテーマに、10月9日、16日、30日、11月3日、27日の全5回の講座をします。講師は、教職課程センター・地域学校教育センター百瀬美帆教授と多言語コミュニケーションセンターのパトリツィア・ハヤシ教授、タイソン・ロード准教授です。

20人の受講者の皆さんはホテルでの会話表現、コミュニケーションを円滑に進めるコツ等を楽しみながら学んでいました。初級受講者のサポート役として、外国語学部英米語学科教職履修2年生の小川翔太郎さん、田中啓夢さん、富樫美智雄さん、原山要佑さん、3年生の川元麻衣さん、桑原百蘭さんが参加しました。学生にとっては年上の学習者と接する貴重な機会となりました。（写真右から2人目は小川翔太郎さん）



明海大学あけみ英語村 2022 栗原小学校

10月4日、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村 2022～小学生異文化交流プロジェクト～」を開催しました。

足立区立栗原小学校4年生56人と本学の外国人留学生・英米語学科教職履修学生約60人が参加し、英語を使ったキャンパスツアーや多言語コミュニケーションセンター(MLACC)のパトリツィア・ハヤシ教授、タイソン・ロード准教授の指導のもと、キャンパス内の芝生の上でコミュニケーション活動などが行われました。

司会を務めた4年生の椎葉晴斗さんは「児童の緊張をほぐすことと、大人としてしっかりと立ち振る舞いをするを最も意識しました。司会者として全体を見ていると、児童、大学生双方が楽しんで取り組む様子が見られたので互いに学びがあったのだと感じました」と、卒業後に小学校教員を目指している3年生の児島晴香さんは、「笑顔いっぱいの小学生にたくさんの元気をもらいました。英語を使って楽しくコミュニケーションを図る活動を通して、教師になりたいという思いがさらに強くなりました」とそれぞれに感想を話していました。



グループで自己紹介



METTSでは足立区をはじめとして、様々な地域、学校との連携した取組を通じて、地域学校教育に貢献する人材の育成を進めていきます。（左写真はコミュニケーション活動の様子）

ちば！ 教職たまごプロジェクト

今年度からこのプロジェクトへの参加は教職インターンシップの授業の一貫として位置づけられており、毎回の活動を報告することになっています。外国語学部日本語学科4年生小林恵奈さんの報告書からは、彼女が素晴らしい経験を積んでいることが読み取れます。

「今日も主に2学年の国語の授業を見学をしました。授業内でも生徒から質問されることが増えてきたのにもかかわらず、それに対して答えることができなかつたりすることが多いので、もっと国語の知識を増やしていこうと思いました。（途中省略）合唱コンクールに向けて、生徒たちの成長が見られるのがすごくうれしく感じられたり、歌声を聞いて鳥肌が立つくらい感動したりしました」

小林さんを含め4年生8人が同プロジェクトに参加し各実習校において校務補助や授業参観を行いながら教員の実務について学んでいます。



アゴラ活用状況（人）	
9月	1015人
2018年からの延べ数	55456人